

# エコニュース さって



第 7 9 号  
平成 31 年 3 月 27 日  
さって市民環境ネット  
TEL 48-0331

## 「浮きウキフェスタ 30」大成功！

報告：久保田

10月29日(日)、晴天に恵まれた秋空の下、水辺再生イベント「浮きウキフェスタ 30」が開催された。場所は、権現堂第1公園。開会式には幸手市、久喜市(元栗橋町)、五霞町の首長の挨拶もありフェスタがスタート。市民団体、近隣企業が出展するテントは22。そのほかに、桜高校のちんどんパレード、さっちゃんをはじめとするゆるキャラマスコット6体の出演、バンド演奏、カヌー体験と盛りだくさん。



ただいま 浮島 製作中

さって市民環境ネットは、NPO とよあしはらと協働し、浮島づくりを担当。小学生以下の子供 9 名を含む計 82 名が参加。4 班に分かれ 4 基の浮島をつくった。組み立てられた浮島は、竹のレールを使い湖面に投入(進水式)、ボートにより湖の中央に係留され固定された。

平成 21 年にフェスタ開催以来、設置された浮島の

数はすでに 72 基にもなるが、一部は寿命により壊れ、浮島としての役割を終えている。水質改善の効果は、平地ダム全表



浮島に乗ると気持ちいい！

面積に対して浮島が占

める面積の比率が余りにも小さいので、水質改善は無理とのこと(埼玉県環境科学国際センター見解)。生物多様性空間づくりの効果は、水鳥の集まる場所となるなど目視ができ、十分な効果が上がっている。



出来上がった浮島の上で できた！

昨年は、ビオトープ浮島の役割を、市民に分かりやすく説明するため護岸に看板を設置した。

## 「第38回幸手市健康福祉まつり」に参加して

報告：福田

11月4日（日）ウエルス幸手にて健康福祉まつりが開催された。例年通り今年も一年間の活動内容のパネル展示、一部ジオラマ展示、腐葉土と野菜つくりの会もパネル展示等を行った。クイズラリーも行われ、クイズラリー参加者は小学生74名、10～20代7名、30～40代77名、50～60代65名、70～80代43名 合計266名で、男女や年齢の不明者が149名 総計415名でした。



さちネット 一年間の活動内容

クイズラリーの質問の順番に展示され、その解答のヒントも表示されていたので来場者は滞ることなく順調に展開した。隣接する公演会場では絶え間なく演奏等が行われていたが、こちらへの来場者も絶え間なく来場された。

参加者からは63名の方からご意見を書いて頂いた。

- 1) ホウネンエビのことが良く分かった（群馬の方に群馬には沢山生息していると伺いました）
- 2) 中川のジオラマ展示ではムクロジの実が貰えて嬉しかった等
- 3) ゴーヤー栽培では、昨年貰った種で今年は沢山ゴーヤーを収穫出来た。来年は南公民館に見に行きます。来年は必ず自分で育てます等多数の意見を聞くことが出来た。
- 4) 公開学習コーナーでは、桜の木を守って下さいとかクビアカツヤカミキリを絶滅して下さい等が聞くことが出来た。
- 5) 最も多かったのは、詳しい説明有難う勉強になったとか、色々なことを教えてくれて勉強になった等でした。

自然を大切にしている気持ちが十分伝わったので、自分も自然を大切にしたいとの嬉しい意見が聞くことが出来た福祉まつりでした。



中川のジオラマの展示

## 「第2回市民環境講座 環境見学会」の様子 報告：坂本

平成30年度第2回 市民環境講座 環境見学会が平成30年11月7日（水）に開催されました。参加者は、市民27人、環境講座協力団体であるさって市民環境ネット5人、主催者である環境課の職員2人の合計34人です。午前8時30分、バスは市役所を出発し、圏央道、常磐道を通り、第1の目的地である茨城県小美玉市の「カゴメ茨城工場」に到着した。幸手から見ると、ちょうど筑波山の向こう側という地点です。



「カゴメの原材料は世界から」との説明

この工場ではカゴメの「野菜生活 100」（ジュース）、「ラブレ」（乳酸飲料）を生産しています。衛生的で機械化された工場では、安心・安全な製品を製造することはもちろんのこと、生産工程で排出された余剰物の99%以上は、飼料（家畜のえさ）、肥料、再生原料にしている。また、製品の加熱・殺菌に使用する蒸気を作るボイラーの燃料は環境面を配慮して、重油から液化天然ガスに転換しました。今後も環境に配慮した取組を追求していくとのことでした。

午後は、つくば市観音台にある「食と農の科学館」です。ここは食と農の様々な研究成果を

まとめた博物館です。①米の安定供給の研究、②農業付加価値の研究、③シーズ（種）の創出研究、④地球規模課題対策の研究、⑤農林水産研究、⑥震災復興研究、⑦無人農業ロボットの研究、など。

一つの研究を紹介すると、夏の熱帯夜により気温が下がらないと、米の品質が悪くなり、美味しい米ができなくなります。高温耐性品種を育成し、熱帯夜が続いても美味しい米が生産されるよう研究しているとのことでした。温暖化が進むと、品種も



熱心に学ぶ姿「食と農の科学館」にて

換えないといけないのだと知りました。以上の見学を終了し、市役所へ戻りました。

見ることは知識を広めること、社会の出来事に対し興味を持つことです。今回の見学会で色々な勉強をしました。参加者の皆さんはこの成果をお友達に話してみてください。そうすれば多くの市民が環境に関心を持ち、毎日の生活の中で、環境に配慮した行動をとることにつながると思います。私たちの環境は、私たちが守らなければなりません。将来の子孫のためにも。

## 第174回腐葉土と野菜づくりの会

報告：澤村（以降、同じ）

10月14日（日）臨時開催、9時開始、天気；くもり 出席者数；14名

内容：①エダマメの収穫、②第2回サツマイモ収穫。

7月に植えた、奥マメの房が適度に実り、タイミングを逸すると硬くなってしまっているので臨時開催し、昨週残したサツマイモ（3畝分）と合わせて収穫しました。奥マメは、移植分は豊かに実り良い収穫量でしたが、直播き分は4日間の水やりにも拘わらず芽が1割程度しか出ず僅かな収穫量でした。後日の感想で、サツマイモは形状が悪かったが味は甘く、奥マメは無農薬でしたがほとんど虫が入らず最高の味でしたという感想やお礼がありました。

## 第175回腐葉土と野菜づくりの会

11月25日（日）9時開始、天気；晴 出席者数；14名。

内 容：①熟成腐葉土第二基頒布、②今年度腐葉土第一基の切込み。③ダイコンの収穫。



中生ダイコン収穫：ドローンからの映像

今回は、ダイコンの収穫に合わせて月末開催になりました。今回、昨年度作製の第二基腐葉土の量が最も多く頒布されてもまだ残り次回に空にすることにしました。

今年度第一基への落ち葉の切込みは、サクラ、ケヤキなどを環境課に沢山集めて頂いたものを使用しました。ダイコンの収穫は、今年は腐葉土の散布時期を前倒したので又根の発生が少なく、少し小さいものを残してスーパー販売並みのサイズが7本/人収穫できました。

## 176回腐葉土と野菜づくりの会

12月16日（日）10時開始、天気；くもり、出席者数；9名。

内 容：①昨年度作製腐葉土第二基の頒布、②今年度腐葉土第一基切返し、③同左第二基仕込み、④中生ダイコン2回目の収穫。今季、最高の寒さで、出席者数も少なかったため落ち葉収集を中止しました。

## 177回腐葉土と野菜づくりの会

1月20日（日）10時開始、天気；晴、出席者数；14名。

内 容：①第一基の切返し、②落ち葉収集と第二基への切込み、③晩生青首ダイコン収穫



第二基への落ち葉の切込み

晴天が続き、連日、乾燥注意報が出た大寒の極寒の下での開催。今回は、第一基の3回目の切返し。ランド管理の方々がランド周囲から集めた落ち葉を管理人の承諾を得て4袋頂いき（有料焼却しているため省エネ・節約を兼ねて）、更にクヌギ林の落ち葉を集めて第二基へ切り込みました。終了後、畑へ移動して大きく生長した晩生ダイコンの収穫をしました。7～8本/人の大収穫でした。なお、今回、2名の女性が見学兼ねて作業に参加しましたが、実地体験して入会することになりました。

**【会員募集中！】**環境保全活動を一緒にやっていただく方を募集しております。是非、貴方も参加しませんか。[さって市民環境ネット] ★問い合わせ先；久保田 修（代表）まで TEL 0480-42-1264

**幸手の環境活動グループ：**幸手権現堂桜堤保存会、権現堂川地域環境保全協議会、幸手自然愛護会、幸手ひがし幼稚園、エコ・グリーン幸手、くらしの会、上高野婦人会、倉松探検隊、幸手中央ロータリークラブ、すこやか「食」の会、子育て支援ねっとわーく、いきがい・はなみずきの会(いきがい大学伊奈学園20期)